

# 小金井市 サブスタッフ通信

サブスタッフをより深く知るためのニュースレター Vol.6

講義の概要について紹介を重ねてきましたが、今号では実習の概要、特に利用者の状態像や生活目標の達成に向けたプロセスについて説明します。

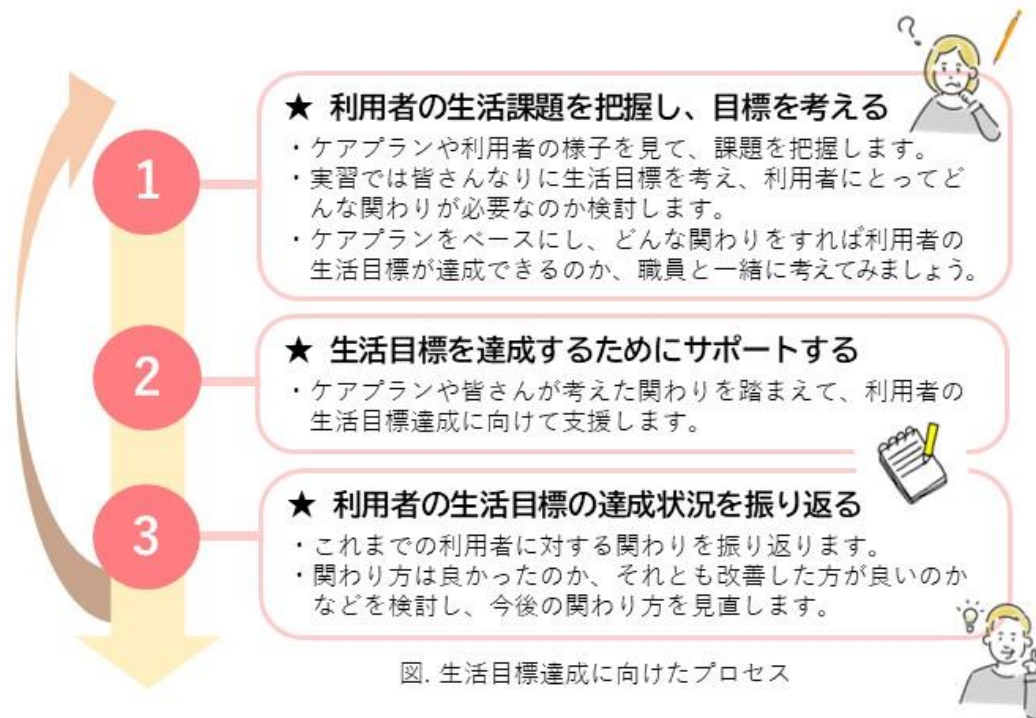


## 【対象となる利用者の状態像】

実習では、利用者を一人担当します。担当利用者は、要介護認定区分の要支援1~2にあたる見守りレベルの軽度な介護が必要な方々です。関節疾患や骨折・転倒、高齢による虚弱といった要因で支援が必要になる方が半数以上を占めます。しかし、必要なケアは利用者の状態や生活環境によって多様です。職員と一緒に必要なケアを確認し、実習に臨みましょう。

## 【生活目標の達成プロセスについて】

利用者が介護保険サービスを利用するために、ケアマネジャーがケアプランを作成します。その際に「生活目標」を設定します。Vol.4でも触れましたが、生活目標とは、利用者の望む暮らしを叶えるための目標のことです。利用者に関わる上で軸になるものですね。実習では、担当利用者に対して下図のような流れで関わり、プロセスを体験してみましょう！



★次号では、アンケート結果やサブスタッフの活動先をご紹介します。みなさんがデイサービスで活動するイメージを高める上での参考にしてもらえたら嬉しいです。

## 【 事業所・サブスタッフの声をお届けします！ 】

このコーナーでは、サブスタッフ養成講座に関わる事業所の職員とサブスタッフをご紹介します。

### ここでの活動がひとつの居場所 になっていますね

今号は前回に続き「中町リハビリデイサービス」です。サブスタッフとして活動しているCさん、Dさんにインタビューをしました。

Q. サブスタッフになって何年目ですか？

Cさん：5年目です。

Dさん：10か月です。Cさんの細やかな気配りには、いつも助けてもらっています！

Q. 講座の受講を決めたきっかけは何ですか？

Cさん：紹介されて参加したさくら体操で、サブスタッフの案内をいただいたことがきっかけです。

Dさん：コロナでつきみの園のボランティアができなくなってしまったことがきっかけです。ここで活動を続けたくて養成講座を受けました。

Q. 受講した感想は？

Cさん：講義が大変充実していて、介護の色々な知識、情報を得られたのが本当によかったです。あとは普段関わることのない色々な人との出会いがありました。OJTでは利用者さんからの温かい声援をいただけるのが嬉しかったです。

Dさん：「受講してよかった～」の一言です！介護予防に対する心構えが本当に変わりました。

Q. 印象に残っている講座はありますか？

Cさん：口腔外科の先生の講義が印象に残ってます。ガムを噛むように言われて知らぬ間にテストされていました。咀嚼や唾液の量で合格いただきました（笑）

Dさん：栄養の講義が印象的で自分と家族にとってすごく役立ちました。その日を境に10品目を意識して摂るようになりましたよ！

Q. サブスタッフの活動の様子をお聞かせください。

Cさん：利用者さんの誘導、バイタル測定、環境調整、プログラムの補助です。利用者さんから聞いた事、体調などは共有するようにしています。



優しい声掛けで利用者の安全を気に掛けるCさん

Q. 活動で意識されていることはありますか？

Cさん：体調管理を意識していますね。あとは、積極的なコミュニケーションを心がけています。利用者さんのできることが増えたり、少しでも変化を感じとれることが嬉しいです。

Dさん：個人情報を守ること、怪我をさせないよう見守り、体調管理を心がけています。あとは、利用者さんの活動場面での様子に変化があるかななどを意識してみようとしています。褒められると自分も嬉しいので、良い変化は積極的にお伝えするようにしています。



元気の掛け声とともに利用者の運動を見守るDさん

Q. サブスタッフをしていてよかったことは？

Cさん：利用者さんの話を聞いたり、接する中で年齢を重ねることを受け入れられるようになったことですね。色々な事を学びながら脳トレにもなっています。あとは姿勢が良くなったと言われて嬉しい！サブスタッフでの活動が1つの居場所になってますね。

Dさん：利用者さんと体操をして肩こりがなくなりました！あとは皆さんの笑顔に会える！それがいいですね～

Q. サブスタッフの活動をきっかけにして、生活に変化はありましたか？

Cさん：Dさんに誘われて法人内のボランティアをするようになりました。あとは地域の人とストレッチやお喋りをするなど、関わりが増えました。輪がどんどん広がっているんです。

Dさん：養成講座で近所のサロンに参加したことがきっかけで、そこに通うようになりました。さくら体操、口腔体操など。あとは以前からポッチャサークルを立ち上げて市内をあちこち回ります（笑）

Q. サブスタッフ養成講座を受講する皆さんに向けてメッセージをお願いします。

Cさん：まず一步を踏み出してみるのがいいと思います。素敵な出会いがあって、いいこともいっぱいですし、老後の情報ももらえます。同じ考えの仲間がいて居心地がいいですよ！

Dさん：地域の皆様のお役にたてることを探している方、自分の健康維持、仲間を作りたいなど思っている人は、ぜひサブスタッフ養成講座に申し込んでみてください！

### 中町高齢者在宅サービスセンター

所在地：東京都小金井市中町2-15-25  
小金井市在住の高齢者の在宅生活を幅広く支えるサービスを展開。



編集：東京都健康長寿医療センター研究所 TEL：03-3964-3241内線（4243）

発行：小金井市福祉保健部介護福祉課包括支援係 TEL：042-387-9845